

# 代ゼミライセンススクール通学講座

「参考書だけで勉強するのは不安…苦手科目を克服したい…。でも近くに予備校はないし、時間もない…」そんな悩みを抱えるあなたにピッタリの人気の講座を厳選しました！“わかる講義”は当たり前！その上を行くファーマプロダクトの情熱あふれる講義をぜひご体験ください！！

## 受講校舎

### 代々木ゼミナール全国6校舎

本拠校（代々木校）・札幌校・新潟校・名古屋校・大阪南校・福岡校

## 申込電話番号

### ファーマプロダクト東京校

☎03-3369-8188（平日10:00～17:00）

校舎案内・詳細地図は  
こちらからどうぞ↓



または  
代ゼミ 検索



受講ブース

※最新情報はファーマプロダクトホームページをご確認ください。  
http://www.pharmaproduct.co.jp

申込受付締切：平成29年2月10日17:00まで  
受講可能期間：平成28年5月9日～平成29年2月28日まで

## 受講の流れ

※受講可能になるまでの手続きに10日間程度要するためお早めにお申込ください。

### 1. 電話申込

科目コード、科目名、受講校舎をお伝えください。  
ファーマプロダクト東京校 ☎03-3369-8188（平日10:00～17:00）

### 2. 受講料振込

申込受付後、受講票（お振込のご案内）・受講ガイドをご郵送いたします。  
※申込日から2週間以内に指定の口座へお振込ください。

### 3. ブース予約

インターネット、またはお電話にてご予約ください。  
※ご予約は、受講料振込（取扱）日の4営業日後から可能となります。

- ・インターネット予約期限：受講希望日の3日前24:00まで
- ・電話予約期限：受講希望日の3日前16:30まで

【ブース使用時間】

月曜～土曜：1～9限  
日曜・祝日：1～6限

※一部例外日あり

1限	9:00～10:00	4限	13:30～14:30	7限	17:00～18:00
2限	10:10～11:10	5限	14:40～15:40	8限	18:10～19:10
3限	11:20～12:20	6限	15:50～16:50	9限	19:20～20:20

講義時間に関わらずブースの使用時間は1コマ最大90分まで受講可能となります。  
受講後の余った時間は、見直しの時間などにご利用ください。

### 4. 受講

予約した日時に受講校舎にてご受講ください。  
教材は受講校舎にて1コマ目の受講の際にお渡しいたします。  
※ブース予約・受講についての詳細は、受講ガイドをご確認ください。

## コンテンツ一覧（科目別）

衛生 薬理、病態・薬物治療 薬剤 法規・制度・倫理 実務のコンテンツは裏面をご参照ください。

領域	科目コード	科目	講師	コマ数	受講料(税込)	内容	シリーズ
物・化・生	0104	基礎有機化学①	守ヶ洞 順	70分×5	10,000	〈物理系薬学を学ぶ〉 C1 (1)物質の構造【化学結合】・結合の成り立ち・原子の軌道・分子の混成軌道・共役や共鳴 〈化学系薬学を学ぶ〉 C4 (1)【有機化合物の立体構造】・エナンチオマー、ジアステロマー、メソ化合物、ラセミ体 (2)【芳香族化合物】・Huckel則	2
	0106	物理化学・物理薬理学	伊藤 文子	70分×5	10,000	〈物理系薬学を学ぶ〉C1 物質の物理的性質 1. 物質の変化【反応速度】反応次数と速度定数、反応速度、温度の関係 C2 化学物質の分析 1. 化学平衡【酸と塩基】酸と塩基平衡、pH、緩衝液、分子形・イオン形	2
	0113	基礎有機化学②	守ヶ洞 順	70分×5	10,000	〈化学系薬学を学ぶ〉 C4 (2)【アルカン】・立体配座・アキシアル、エクアトリアル 【芳香族化合物の反応性】・求電子置換・配向性・I効果とM効果 (3)官能基【有機ハロゲン化合物】・S <sub>N</sub> 1 およびS <sub>N</sub> 2反応 【官能基の酸性度・塩基性度】・酸性度の比較・含窒素化合物の塩基性度	2
	1102	機器分析学（物理）	堀川 祐介	70分×5	10,000	・分離精製法 （ガラムクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー）	3
	1203	機器分析学（物理） 臨床応用 編	堀川 祐介	70分×5	10,000	1. 電気泳動法 2. 試料前処理法 3. 画像診断技術	4
	1403	生化学	小林 美保子	60分×6	10,000	1. 生体成分の代謝 糖質の代謝（解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化など） 脂質の代謝（トリアシルグリセロールの分解、β酸化、ケトン体） アミノ酸の代謝（アミノ酸の脱炭酸反応、アミノ基転移反応、尿素回路など）	6
	1501	分析化学(物理) 分光分析法 編	堀川 祐介	60分×6	12,000	1. 電磁波 2. 紫外可視吸光度測定法 3. 蛍光光度法 4. 原子吸光度法 5. 誘導結合プラズマ発光分光分析法 6. 旋光度測定法	7
	1509	物理化学 反応速度論 編	大野 正紀	60分×6	12,000	1. 反応次数（0次、1次、2次）、反応速度定数、半減期 2. 懸濁剤の分解（擬0次反応） 3. 反応速度定数に影響を及ぼす因子（温度）	7
	1510	機能形態学	加藤 富紀子	60分×6	12,000	1. 自律神経系（神経の分類、自律神経系の解剖・生理、拮抗二重支配） 2. 循環器系（心臓の解剖・生理、血管の解剖・生理） 3. 消化器系（消化管の解剖・生理、付属器官の解剖・生理）	7
	1511	生化学 細胞の構造と機能 編	小林 美保子	60分×6	12,000	1. 原核細胞と真核細胞の比較 2. 細胞分裂と細胞死 3. 細胞膜の構成成分（リン脂質、糖脂質、コレステロールなど） 4. 細胞膜、細胞小器官、細胞骨格など	7
	1513	放射化学	伊藤 文子	60分×3	6,000	1. 電離放射線の種類と性質 2. 放射線の生体への影響 3. 放射線核種	7
	1515	物理・薬剤 束一性・等張化・相平衡 編	大野 正紀	60分×6	12,000	1. 溶液の束一性（凝固点降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧） 2. 等張化の計算（氷点降下度法、食塩法、等張容積法） 3. 相平衡（固相-液相平衡、気相-液相平衡）	7
	1520	生薬学	戸島 望	60分×3	6,000	1. 生薬成分の生合成経路 2. 天然有機化合物由来の医薬品 3. 代表的な漢方処方	7
	1521	分析化学 容量分析 編	堀川 祐介	60分×7	12,000	1. 容量分析の基礎 2. 容量分析各論：中和滴定、非水滴定、沈殿滴定、酸化還元滴定、ジアゾ滴定、キレート滴定 3. 標定	7
	1601	生化学 NEW 生体エネルギー代謝 編	小林 美保子	60分×6	12,000	1. 糖質代謝（解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化など） 2. 脂質代謝（トリアシルグリセロールの分解、β酸化、ケトン体） 3. アミノ酸代謝（アミノ酸の脱炭酸反応、アミノ基転移反応、尿素回路など）	8
	1605	物理化学 NEW	伊藤 文子	60分×5	12,000	1. 反応速度（0次、1次、2次） 2. 懸濁剤の分解（擬0次反応）	8
	1610	分析化学 NEW 構造解析法 編	堀川 祐介	60分×5	12,000	1. 赤外吸収スペクトル測定法 2. 核磁気共鳴スペクトル測定法（ <sup>1</sup> H-NMR） 3. 質量分析法	8
	1612	分析化学 NEW	岡ノ谷 美帆	60分×6	12,000	1. クロマトグラフィーの種類と分離機構 2. 液体クロマトグラフィー 3. ガスクロマトグラフィー 4. クロマトグラフィーを用いた医薬品の定量	8
1614	機能形態学 9月上旬開講予定	島村 龍磨	60分×6	12,000	1. 自律神経系 2. 循環器系 3. 消化器系	8	

コンテンツ一覧 (科目別)

物・化・生のコンテンツは表面をご参照ください。

領域	科目コード	科目	講師	コマ数	受講料(税込)	内容	シリーズ
衛生	1502	衛生(健康) 食中毒・解毒薬 編	岡ノ谷美帆	60分×6	12,000	1. ウイルス性・細菌性食中毒 2. 自然毒 3. 化学汚染物質 4. 解毒薬	7
	1503	衛生(環境) 化学物質の代謝・乱用薬物の特徴 編	仁平雄介	60分×6	12,000	1. 薬物代謝(第I相反応、第II相反応) 2. 乱用薬物の特徴	7
	1504	衛生(環境) 水環境・大気環境 編	仁平雄介	60分×6	12,000	1. 水環境 2. 大気環境	7
	1606	衛生(健康) NEW	戸島望	60分×6	12,000	1. 保健統計学 2. 疫学	8
薬理、病態・薬物治療	0101	機能形態・薬理・病態学①	西井健一	70分×5	10,000	薬と疾病>C13薬の効くプロセス(2)薬の効き方I 【自律神経系に作用する薬】 C14薬物治療(4)疾病と薬物治療(精神疾患等) 【眼疾患】	2
	1110	薬理(薬理)・病態学②(病態・薬物治療)	西井健一	70分×5	10,000	・悪性腫瘍と抗悪性腫瘍薬 代表的な悪性腫瘍(“がん”)と抗悪性腫瘍薬(“抗がん剤”)について	3
	1303	機能形態学・薬理学・病態学② 中枢神経薬理 編	堀川祐介	60分×6	10,000	1. 中枢神経系の機能形態 2. 全身麻酔薬 3. 催眠薬 4. 中枢性鎮痛薬	5
	1401	機能形態学、薬理学、病態・薬物治療	佐藤香奈	60分×6	10,000	1. 末梢神経系機能形態学 2. 利尿薬 3. 感覚器疾患とその治療	6
	1412	機能形態学、薬理学、病態・薬物治療 循環器 編	佐藤香奈	60分×6	10,000	1. 循環器系の機能形態 2. 虚血性心疾患とその治療	6
	1505	薬理 自律神経系に作用する薬物 編	齋藤篤	60分×6	12,000	1. 副交感神経系作用薬 2. 交感神経系作用薬	7
	1506	生物(機能形態)、薬理 オータコイド 編	佐藤香奈	90分×2 60分×3	12,000	1. ヒスタミン及び関連薬物 2. セロトニン及び関連薬物 3. キニン類及び関連薬物 4. エイコサノイド及び関連薬物 5. レニン-アンギオテンシン系及び関連薬物	7
	1517	薬理、病態・薬物治療 消化器系 編	加藤富紀子	60分×6	12,000	1. 消化器系の機能形態 2. 消化性潰瘍とその治療 3. 肝疾患とその治療 4. 胆石症とその治療 5. 膵炎とその治療	7
	1602	機能形態学・薬理学 NEW 内分泌系(ホルモン)及び内分泌薬理 編	齋藤篤	60分×6	12,000	1. 視床下部ホルモン 2. 脳下垂体前葉ホルモン 3. 脳下垂体後葉ホルモン 4. 副腎皮質ホルモン 5. 性ホルモン	8
	1603	薬理・病態・薬物治療 NEW 代謝性疾患 編	齋藤篤	60分×6	12,000	1. 糖尿病とその治療 2. 脂質異常症とその治療	8
	1604	推計学 NEW	守ヶ洞順	60分×6	12,000	1. 統計解析法 2. 薬剤疫学 3. 薬剤経済分析	8
	1607	生物(機能形態)、薬理 NEW オータコイド 編	佐藤香奈	60分×6	12,000	1. ヒスタミン及び関連薬物 2. セロトニン及び関連薬物 3. キニン類及び関連薬物 4. エイコサノイド及び関連薬物 5. レニン-アンギオテンシン系及び関連薬物	8
	1611	薬理学 NEW 体性神経系及び利尿薬 編	阿南如子	60分×6	12,000	1. 局所麻酔薬 2. 骨格筋及び骨格筋弛緩薬 3. 利尿薬 ※関連する機能形態学を含みます。	8
薬剤	1508	薬物動態学 ファーマコネティクス基礎 編	伊藤文子	60分×6	12,000	1. 線形1-コンパートメントモデル 2. 生理学的モデル 3. 血中濃度時間曲線下面積(AUC)	7
	1514	物理薬理学	伊藤文子	60分×6	12,000	1. 粉体の性質 2. 界面化学(界面活性剤の種類、界面活性剤の性質) 3. 分散系(コロイド) 4. レオロジー(レオグラム)	7
	1518	製剤学 代表的な製剤の特徴・製造工程 編	大野正紀	60分×6	12,000	1. 代表的な製剤(固形製剤、半固形製剤、無菌製剤) 2. 代表的な製剤の製造工程	7
法・制・倫	1512	薬事関係法規	守ヶ洞順	60分×6	12,000	1. 薬剤師法 2. 薬局(医薬品医療機器等法) 3. 医薬品等の販売業(医薬品医療機器等法) 4. 製造販売業と製造業(医薬品医療機器等法)	7
	1608	法規・制度・倫理 NEW 医薬品医療機器等法(薬機法) 編	小林美保子	60分×6	12,000	1. 目的・定義 2. 製造販売業と製造業	8
実務	0117	実務実習事前学習(調剤学)②	加藤富紀子	70分×5	10,000	薬と疾病>C15 薬物治療に役立つ情報 (1) 医薬品情報【情報源】 (3) テラーメイド薬物治療を目指して 【年齢的要因】、【生理的要因】 実務実習事前学習①(1) (2) 処方せんと調剤【服薬指導の基礎】 (3) 疑義照会(5) リスクマネージメント(6) 服薬指導と患者情報	2
	1210	実務(実務) 一般調剤業務 編	加藤富紀子	70分×5	10,000	1. 散剤の調剤(一般調製法、散剤の計算) 2. 液剤の調剤(一般調製法、液剤の計算) 3. 注射剤の調剤(配合変化、輸液剤、高カロリー輸液、電解質の計算、カロリー計算)	4
	1409	薬物動態学	伊藤文子	60分×6	10,000	1. 物動態の変動要因(肝固有クリアランス、病態時の薬物動態) 2. 血中濃度モニタリング(TDM)	6
	1507	実務(実務) 服薬指導と副作用の回避 編	加藤富紀子	60分×6	12,000	1. 服薬指導の意義と態度 2. 交付時の患者への服薬説明 (剤形と説明、医薬品と説明) 3. 副作用の回避(医薬品の副作用、副作用用語) 4. 特殊な患者への服薬説明(小児、関節リウマチ、気管支ぜん息、糖尿病)	7
	1516	実務 注射剤の取り扱い 編	佐藤香奈	60分×6	12,000	1. 注射剤の調製 2. 輸液剤 3. 電解質濃度の計算 4. 高カロリー輸液療法 5. 注射剤の配合変化	7
	1519	実務 医薬品の適正使用 編	佐藤香奈	60分×6	12,000	1. 医薬品の用法・用量 2. 相互作用(薬物動態学的・薬力学的)の回避	7
	1609	実務 NEW チーム医療 編	加藤富紀子	60分×6	12,000	1. チーム医療の意義 2. チーム医療の構成員と役割 3. 病院内の医療チーム(ICT、NST、PUT、PCT)	8
	1613	実務 注射剤の取り扱い 編 9月上旬開講予定	加藤富紀子	60分×6	12,000	1. 注射剤の用法・用量 2. 輸液剤、高カロリー輸液の種類と取り扱い 3. 電解質濃度の計算、カロリー計算 4. 注射剤の配合変化	8

※1601,1611～1616は第102回薬剤師国家試験対策ファーマプロダクト東京校前期日曜講座と同じ内容です。  
 ※シリーズ8には、シリーズ2～7のリニューアル版が含まれる場合があります。講義内容をよく読んでお申込みください。  
 ※講義時間は問題演習の時間を含みます。また目安の分数となります。  
 ※受講料には教材費・消費税が含まれております。



申込電話番号) ファーマプロダクト東京校  
 ☎03-3369-8188 (平日10:00～17:00)